【FdData 中間期末：中学社会地理】

[中国・四国：交通網の発達]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[瀬戸大橋の開通と通勤・通学者の増加]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～F で誤っているものを 1 つ選び，正しい語句に直せ。

1988 年，本州四国連絡橋のうちの A 瀬戸大橋(右図 X)が開通した。開通前は，B 岡山県岡山市と C 香川県高松市との間は，D 鉄道と船を使って移動に約 2 時間かかり，悪天候で船が欠航することもあった。A 橋の開通後は，自動車や鉄道を使って 1 時間以内で移動できるようになった。

A 橋の開通で E 所要時間が大幅に短縮されたことで，瀬戸内海をわたって通勤・通学する人が F 少し増えた。

[解答]F 大幅に増えた

※出題頻度：「瀬戸大橋◎」「橋の開通で所要時間が大幅に短縮された○→瀬戸内海をわたって通勤・通学する人が増えた○」

[問題](2 学期期末)

次の表を参考に，各問いに答えよ。

岡山・香川県間の所要時間

	フェリーとJR	瀬戸大橋(JR)
所要時間	120分	40分

(1) 1988 年に岡山県と香川県との間に開通した橋の名前を答えよ。

(2) (1)の開通により，所要時間が大幅に(　①　)されたことで，瀬戸内海をわたって(　②　)・通学する人が大幅に(　③　)。文中の①～③に適語を入れよ。

[解答](1) 瀬戸大橋　(2)① 短縮

② 通勤　③ 増えた

[問題](3 学期)

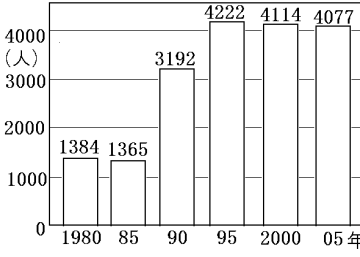
次の各問いに答えよ。

(1) 地図中のA～C の 3 ルートをまとめて何というか。

(2) ①B のルートに 1988 年に開通した橋の名称を書け。②また，その橋で結ばれた 2 つの県名も書け。

(3) (2)の両県の通勤・通学者数は，開通後どのように変化したか。下の表とグラフから，通勤・通学者数の変化の理由にふれながら簡単に説明せよ。

両県間の通勤・通学者数



両県間の所要時間

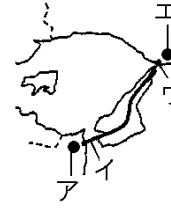
	フェリーとJR	Bの橋(JR)
所要時間	120分	40分

[解答](1) 本州四国連絡橋　(2)① 瀬戸大橋　② 岡山県，香川県　(3) 所要時間が大幅に短縮されたため，通勤・通学者数が大幅に増えた。

[大鳴門橋・明石海峡大橋の開通とストロー現象]

[問題](要点把握)

次の下線部A～Hで誤っているものを2つ選び，正しい語句に直せ。



四国地方と近畿地方とは，1985年のA大鳴門橋(右図イ)の開通，1998年のB明石連絡大橋(ウ)の開通でつながった。これによって，C 徳島県鳴門市(ア)とD兵庫県神戸市(エ)との間の移動時間がE大幅に短縮されると，高速道路を通って四国地方と近畿地方の都市を結ぶ，多くのバス路線が新設された。徳島県では，F高速バスを利用して日帰りで近畿地方に買い物に出かける人々が増え，

G 地元商店の客が奪われて地方経済が衰退してしまうという問題が生じた。交通網が整備された結果，大都市へ人が吸い寄せられる現象を H ストロー吸引現象と呼ぶ。

[解答]B 明石海峡大橋，H ストロー現象

※出題頻度：「明石海峡大橋◎」「大鳴門橋〇」「ストロー現象◎：大都市に買い物客が吸い寄せられ，地元の商店の客が奪われる〇」

[問題](2 学期中間)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

右図 A の(　①　)橋と B の(　②　)橋が開通すると，四国の鳴門市と兵庫県の神戸市間は高速バスで約 1 時間 30 分に短縮された。橋の開通前，四国の中心地は香川県の高松市であったが，橋が開通すると，四国から近畿地方の神戸や大阪まで買い物や観光などで出かける人が増え，四国の地元商店の客が奪われて地方経済が衰退してしまうという問題が生じた。このように交通網が整備された培果，大都市へ人が吸い寄せられることを(　③　)現象という。

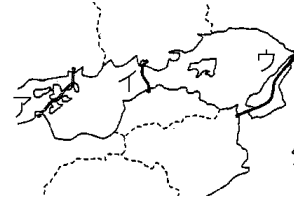
[解答]① 大鳴門　② 明石海峡大

③ ストロー

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

(1) 徳島県と兵庫県を結ぶルートは右図ア～ウのどれか。



(2) (1)のルートにかかる橋を 2 つあげよ。

(3) (1)のルートができた結果，大都市に買い物客などが吸い寄せられて，地元の商店街が衰退してしまうことが問題になった。この現象を何というか。

[解答](1) ウ　(2) 明石海峡大橋，大鳴門橋　(3) ストロー現象

[問題](2 学期期末)

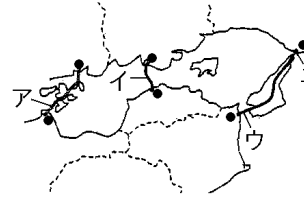
　大鳴門橋と明石海峡大橋が開通した結果，徳島県などの四国の地方都市の消費が落ち込んだ。①この現象を何というか。②また，徳島県で消費が落ち込んだ理由を，「高速バスなど」「買い物」という語句を使って書け。

[解答]① ストロー現象　② 徳島県の人が高速バス等で神戸市などへ行って買い物をするようになったから。

[本州四国連絡橋の 3 つのルート]

[問題](要点把握)

　次の下線部 A～E で誤っているものを 1 つ選び，正しい語句に直せ。



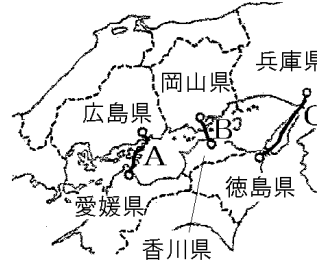
　本州と四国を結ぶ 3 つのルートの橋をまとめて A 本州四国連絡橋という。図のイは B 瀬戸大橋で岡山県の倉敷市児島と香川県の坂出市を結んでいる。図のウの C 大鳴門橋とエの D 明石海峡大橋は兵庫県の神戸市と徳島県の鳴門市を結んでいる。アは E しまなみ道路で広島県尾道市と愛媛県の今治市を結んでいる。

[解答]E しまなみ海道

※出題頻度：「本州四国連絡橋◎」
「瀬戸大橋◎」「しまなみ海道〇」
「明石海峡大橋◎」「大鳴門橋△」

[問題](1 学期中間)

本州と四国を結ぶ橋について, 次の各問いに答えよ。



(1) A のルートを何海道というか。

(2) B のルートにかかる橋の名前を書け。

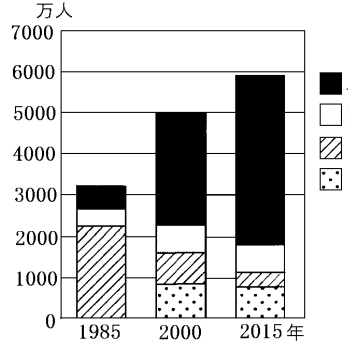
(3) C のルートにかかる橋を 2 つ書け。

(4) A, B, C の 3 つのルートをまとめて何というか。

[解答](1) しまなみ海道 (2) 瀬戸大橋 (3) 明石海峡大橋, 大鳴門橋 (4) 本州四国連絡橋

[問題](入試問題)

右のグラフは，四国地方と四国地方以外を行き来するときに利用した交通手段のうち，船舶，航空機，鉄道，自動車の利用者について，それぞれの年間の延べ人数の推移を示したものである。グラフ中のA～Dは，船舶，航空機，鉄道，自動車のいずれかを示している。次の[　　]のうち，A にあたる交通手段はどれか。1つ選べ。



[船舶　航空機　鉄道　自動車]

(香川県)

[解答]自動車

[フェリーの減便・廃止などの影響]

[問題](後期中間)

　本州四国連絡橋が整備されたことによるマイナス面にあてはまるものをア～エから 2 つ選んで，記号を書きなさい。

ア　離島への連絡船やフェリーの廃止

イ　高速バスのネットワークの充実

ウ　瀬戸内海をわたって通勤・通学する人の増加

エ　四国地方の百貨店の閉店

[解答]ア，エ

※出題頻度：「フェリーの減便や廃止○」「自動車をもたない人や高齢者は不便になった△」

[問題](3 学期)

瀬戸大橋が開通して，人々の生活に変化が起こった。次のア～エのうち，適当でないものはどれか。1 つ選べ。

ア　鉄道や自動車との船の乗りかえがなくなり，移動時間が短縮した。

イ　フェリーの便が減り，橋がかかっていない島にすむ人々が移動手段に困った。

ウ　橋がかかった島々では，夜間に施設の整った病院に行けるようになった。

エ　橋がかかった島々では，島のすべての人が便利に移動できるようになった。

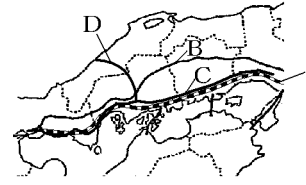
[解答]エ

[その他の交通網]

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 右の地図中のAの新幹線，BとCの自動車道路の名前を答えよ。



(2) 島根県浜田市と広島県北広島町を結ぶDの自動車道を何というか。

[解答](1)A 山陽新幹線　B 中国自動車道　C 山陽自動車道　(2) 浜田自動車道

※出題頻度：「中国自動車道○」「山陽自動車道△」「浜田自動車道△」

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[世界 1]　[世界 2]　[日本 1]　[日本 2]

社会歴史

[古代]　[中世]　[近世]　[近代]　[現代]

社会公民

[現代社会]　[人権]　[三権]　[経済]

理科 1 年

[光音力]　[化学]　[植物]　[地学]

理科 2 年

[電気]　[化学]　[動物]　[天気]

理科 3 年

[運動]　[化学]　[生殖]　[天体]　[環境]

【FdData 中間期末製品版のご案内】
この PDF ファイルは, FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で, 印刷・編集を自由に行うことができます。
◆FdData 中間期末の特徴
中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は, 実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため, 出題傾向の 90%以上を網羅しております。
FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは,「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では，ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」,「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として，塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ，成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし，FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を，鉛筆を使って一問一問解き進むことで，大きな学習効果を得ることができます。さらに，製品版は，すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理，歴史，公民：各 7,800 円

理科 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

数学 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

ご注文は電話，メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは，Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。
（「amazon　fddata」で検索）

【Fd 教材開発】電話：092-811-0960

メール： info2@fdtext.com